

「産後うつ病の自己評価スケール(EPDS)について」

三重大学医学部精神神経科

研究協力者 岡野 禎 治

産後うつ病のスクリーニングの目的でエジンバラ産後うつ病調査票(EPDS)の日本版(再英訳済)を作成した。この自己調査票の信頼性と妥当性を検討したところ、1993年11月のオープン・フォーラムで発表したように日本でも産後うつ病のスクリーニング・テストとして有用であると思われた。しかし、このスケールは自己評価によるスクリーニングを目的としたもので、この尺度によって診断は出来ない。したがって、高得点群の産褥婦で直接面接を行った上で産後うつ病が疑わしい場合、精神科医の診察を仰ぐ必要がある。その場合には個人のプライバシーに十分に配慮して慎重に行わなければならない。

使用方法：このスケールは10項目から構成されている。各項目の選択肢の番号が得点である。実際に使用する場合には、選択肢の番号は(1)～(4)の順番に書き直して使用する。各項目の合計が9点以上の場合産後うつ病が疑われる。

注意：エジンバラ産後うつ病調査票の著作権はThe Royal College of Psychiatristが保有しているため、無断転載は禁じられている。また、この日本版は再英訳済みである。

(EPDS)の使用に関して原文より

産後うつ病の自己質問票(EPDS)はmaternity blues(産後第1週目に生じる)より遷延して、産後精神病ほど重篤ではない精神疾患である、産後うつ病に罹患した母親を見いだす見出すプライマリーケアの医療従事者の援助をするために開発された。

過去の研究では産後うつ病は女性の少なくとも10%におこり、多くのうつ病の母親は無治療のままになっている。こうした母親は育児や家事に対処しているが、生活の楽しみは非常に損なわれ、家庭内に長期にわたる影響が生じる。

EPDSはリビングストンとエジンバラの健康センターで開発された。これは10の短い文章から構成されている。母親は過去1年間の間に感じたことに最も近い4つの答えにアンダーラインを引けばよい。ほとんどの母親は5分以内に困難もなくスケールをすべて書き終えることができる。

13点以上の母親はさまざまな程度にうつ病に罹患しているであろう。EPDSのスコアは臨床的診断を無視するものではない。慎重な臨床評価が診断を確認するためになされなければならない。このスケールは母親が過去の1週間に感じたことを示すものであり、疑わしい症例では2週間程度に繰り返す方が望ましい。このスケールは不安神経症、恐怖症、性格障害の母親を検出することはできない。

使用者へのインストラクション

1. 母親は過去7日間に感じたことに最も近いものにアンダーラインを引かなければならない。
2. すべての10項目に答えなければならない。
3. 他人と答えを一緒に考えることをないようにしなければならない。
4. EPDSは産褥婦をスクリーニングするため、産後6～8週間後に使用するのが望ましい。この点では、幼児健康クリニック、産褥期の調査、家庭訪問は適切な機会となる。

EDINBURGH POSTNATAL DEPRESSION SCALE (EPDS)

J.L.CoX,J.M.Holden,R.Sagovsky

Department of Psychiatry,University of Edinburgh

Name:

Address :

Baby's age:

エジンバラ産後うつ病調査票

ご出産おめでとうございます。ご出産から今までの間にどのようにお感じになったかをお知らせください。今日だけでなく、過去7日間にあなたが感じられたことに最も近い答えにアンダーラインを引いてください。必ず10項目に答えてください。

例) 幸せだと感じた。 はい、常にそうだった
はい、たいていそうだった
いいえ、あまり度々ではなかった
いいえ、全くそうではなかった

“はい、たいていそうだった”と答えた場合は過去7日間のことをいいます。この様な方法で質問にお答えください。

【質問】

1. 笑うことができたし、物事のおかしい面もわかった。
 - (0) いつもと同様にできた
 - (1) あまりできなかった
 - (2) 明らかにできなかった
 - (3) 全くできなかった

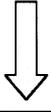
2. 物事を楽しみにして待った。
 - (0) いつもと同様にできた
 - (1) あまりできなかった
 - (2) 明らかにできなかった
 - (3) ほとんどできなかった

3. 物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた。
 - (3) はい、たいていそうだった
 - (2) はい、時々そうだった
 - (1) いいえ、あまり度々ではない
 - (0) いいえ、そうではなかった

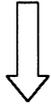
4. はっきりした理由もないのに不安になったり、心配した。
- (0) いいえ、そうではなかった
 - (1) ほとんどそうではなかった
 - (2) はい、時々あった
 - (3) はい、しょっちゅうあった
5. はっきりした理由もないのに恐怖に襲われた。
- (3) はい、しょっちゅうあった
 - (2) はい、時々あった
 - (1) いいえ、めったになかった
 - (0) いいえ、全くなかった
6. することがたくさんあって大変だった。
- (3) はい、たいてい対処できなかった
 - (2) はい、いつものようにはうまく対処しなかった
 - (1) いいえ、たいていうまく対処した
 - (0) いいえ、普段通りに対処した
7. 不幸せなので、眠りにくかった。
- (3) はい、ほとんどいつもそうだった
 - (2) はい、ときどきそうだった
 - (1) いいえ、あまり度々ではなかった
 - (0) いいえ、全くなかった
8. 悲しくなったり、惨めになった。
- (3) はい、たいていそうだった
 - (2) はい、かなりしばしばそうだった
 - (1) いいえ、あまり度々ではなかった
 - (0) いいえ、全くそうではなかった
9. 不幸せなので、泣けてきた。
- (3) はい、たいていそうだった
 - (2) はい、かなりしばしばそうだった
 - (1) ほんの時々あった
 - (0) いいえ、全くそうではなかった
10. 自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた。
- (3) はい、かなりしばしばそうだった
 - (2) 時々そうだった
 - (1) めったになかった
 - (0) 全くなかった

(J.L.Cox et al. Brit J Psychiatry. 1987)

エジンバラ産後うつ病調査票の著作権は The Royal College of Psychiatrist が保有しているため、無断転載は禁じられております。また、この日本版は再英訳済みです。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



「産後うつ病の自己評価スケール(EPDS)について」